

Ⅱ 基本構想

1 まちづくりの基本理念

まほろばの里と呼ばれる私たちの高畠町は、縄文草創期から人々が住み、地域の恵まれた環境を活かした生産と生活のかたちを築いてきました。

高畠町では、そうした伝統と基盤を大切にしながら、同時に新しい時代の価値を積極的に創造し、生き生きと躍動する町、心の通い合うまちづくりをめざし、昭和54年に高畠町町民憲章を制定しています。

前文にある「ゆたかな土」は、多彩な地域農業の可能性を示し、「みがかれた技」は、全ての技能の向上を意味し、「深いまごころ」は町民全ての心がまえを表しています。また、「自治の里」という表現の中には、地域の運命を主体的に、力を合わせてきりひらこうとする町民の意思と願いがこめられています。

第6次総合計画では、このような普遍的な価値観や考え方の基本が述べられた町民憲章をまちづくりの基本理念として位置付け、この理念のもと町民とともに計画を進めていきます。

高畠町町民憲章

わたくしたちは、奥羽の山なみにいだかれた天恵の自然風土と、縄文のいにしえからの歴史と文化遺産をもつ、まほろばの里の住民です。先人のきずいたすぐれた基盤の上に新しい創造を重ね、うるおいと活力にみちた人間の町づくりをめざします。

わたくしたちは、高畠町民としての誇りと責任をもってここに5つの誓いをたて、ゆたかな土の香りとみがかれた技と、深いまごころが織りなす自治の里をつくるために、力を合わせます。

わたくしたちは

- 一、自然と歴史を大切にし、調和のあるまちをつくります。
- 一、からだをきたえ温かい心を育て、生きがいのあるまちをつくります。
- 一、誇りと喜びをもって働き、活力のあるまちをつくります。
- 一、たがいに学び合い文化を高め、知性のあるまちをつくります。
- 一、郷土を愛し若い力を伸ばし、希望のあるまちをつくります。

昭和54年11月3日制定

2 みんなでめざす町の将来像

ゆきかう「またね∞」 あふれる「うふふ∞」

笑顔でのんびり暮らせるまち、
人生のお手本となるカッコいい大人がたくさんいるまち、
いつまでも住み続けられるまち・・・

10年後、そしてその先に続く高畠町の未来を
みんなで思い描き、
何のためにまちづくりをしているのかを突き詰めたとき、
わたしたちは
「一人ひとりが『しあわせ』になること」という結論にたどりつきました。

一人ひとりがめざすもの、大切に想うことはさまざまであっても、
しあわせを感じている心のありようや、未来の高畠町の姿を、

ゆきかう「またね∞」 あふれる「うふふ∞」 と表現しました。

ちょっとうれしい、楽しくて、思わず笑顔になる。
何気ない日々の暮らしで感じる
言葉にならない、言葉にできない、しあわせな気持ちを
「うふふ」という言葉で表しました。

「また会おうね」と、人と人が地域の中でつながる、
「また帰ってくるね」と、町を離れた若者が戻ってくる、
「また来るね」「また食べたいね」と外の人との交流が広がり、つながっていく。
美しい自然も、人も、地域の経済も「またね」とめぐり、共に生きている。
「またね」には、そんな想いを込めています。

たくさんの「またね」がゆきかい、活気に満ち、
しあわせを実感している人であふれている。
そんな高畠町をみんなで一緒につくっていきましょう！

3 みんなで大切にする3つの視点

人口減少・超高齢社会という、私たちがこれまでに経験したことのない時代を迎えています。この大きな変化の時にまちづくりを進めていくには、新しい発想と行動力、これまでにない住民と行政の協働で、乗り越えていく必要があります。

第6次総合計画では、次の3つをまちづくりの大切な共通視点として位置づけ、関わる人たちが常に意識しながら、今も未来も一人ひとりが「しあわせ」を感じられる持続可能なまちづくりの実現に向けて取り組みを進めます。

(1)「うふふ」を生み出す視点（楽しむ）

まちづくりを継続するポイントは、関わる人自身がわくわくし、楽しむこと。みんなが「自分の“好き”や“得意”なこと」を地域社会やまちづくりに活かすことで、他人ごとから自分ごととして、負担感なく活動できるようになっていきます。

楽しむ人が増え、主体的に「まちづくり」に関わる視点を大切にします。

(2)「またね」を活かす視点（つながる）

最初は一人から始まった取り組みでも、“ひと”“もの”“こと”がつながっていけば、大きく広がり、予想もしなかったことに発展していきます。

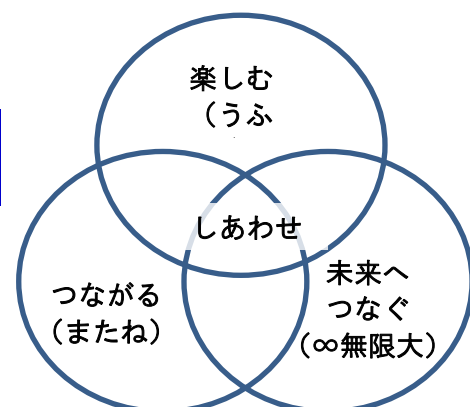
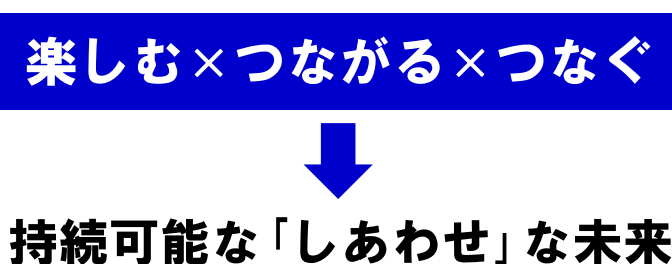
出合いや縁を大事に、多様な「つながり」を活かし、みんなの力とアイデアを出し合って「まちづくり」を進める、新しい協働のかたちを大切にします。

(3)「∞無限大」につづく視点（未来へつなぐ）

今を大切にしながらも、未来の高畠町のこと、そして地球規模の広い視野に立ち、将来世代のことを考えなければなりません。

今ここにある大切なものを「未来」につなぐ、また新たに未来への種を蒔いておく、持続可能な「まちづくり」の視点を大切にします。

◆将来像と3つの視点のイメージ



4 将来像を実現するための基本方針

将来像を実現するため、ライフステージにあわせて具体的な10項目の「めざす町の姿」を設定し、28項目の基本目標を掲げてまちづくりを進めていきます。

◆将来像と基本目標の体系図

将来像	共通視点	ライフステージ	めざす町の姿	まちづくりの基本目標
ゆきかう「またね。」あふれる「うふふ。」	楽しむ（うふふ） × つながる（またね） × 未来へつなぐ（∞無限大）	高島町で暮らす人の「しあわせ」のために	「生まれてくる」ひとのために 高島町で子どもを産み育てたい人が増えている	新しい家庭を築き、家族を増やすことを応援する
				安心して子どもを産める環境やサポート体制を整える
			「育つ」ひとのために みんなが楽しみながら子どもを大切に育てている	子どもが健康にすくすく育つ環境を整える
				子育ての負担を軽減する環境やサービスを増やす
				課題を抱える子を育てる親が安心できる環境を整える
			「学ぶ」ひとのために 学びの場が充実して、魅力ある“高島人”が育っている	子どもたちの中にある力を伸ばす教育を行う
				学ぶ気持ちを大切に、地域の教育力をアップさせる
				「ちがいを認めることができる人」を増やす
			「働く」ひとのために 技の継承と新たな取り組みで、産業に活力が生まれている	若者があこがれる「カッコいい」産業を増やす
				資源や人のつながりで、地域産業を盛り上げる
				一人ひとりの生活に合った多様な働き方の選択肢を増やす
			「暮らす」ひとのために 安心して生活できる環境があり、心豊かに暮らしている	新しいビジネスを創出しやすい環境を整える
				自然とともに、心豊かな暮らしを楽しむ人を増やす
				安心して快適に生活できる環境を整える
			「年を重ねた」ひとのために 一人ひとりが健やかで、ゆるやかに支え合っている	みんなで地域に気を配り「もしも」の時に助け合えるしくみを広げる
				生涯にわたって健康で活動的に生活できる人を増やす
				地域の中でゆるやかに支え合うしくみを広げる
		「次世代の」ひとのために みんなが未来に向けたまちづくりを進めている	「年を重ねた」ひとのために 年を重ねても誰もが自分らしくいきいきと暮らしている	生きがいをもち人生を楽しんでいる人を増やす
				住み慣れた地域で、安心して暮ら続けられる環境を整える
			「次世代の」ひとのために みんなが未来に向けたまちづくりを進めている	地域の自然や生態系を守る活動を広げる
				持続可能な環境づくりに取り組む人を増やす
				歴史、文化遺産を守り活用し、伝承する人を増やす
		高島町とつながる人	「町外に暮らす」ひとのために 高島町の魅力が伝わり、訪れる人、戻る人、移り住む人が増えている	夢や志を持ち活躍する若者を増やす
				協働でまちづくりを進めるための環境を整える
				町内外に町の魅力を効果的に発信する
				高島町ならではの発想による観光を生み出し、訪れる人を増やす
				交流力を高め、高島町を応援する人や地域を増やす
				移住・定住しやすい環境を整え、戻ってくる人、移り住む人を増やす

◆まちづくりの基本方針

ライフステージ 1

「生まれてくる」ひとのために

めざす町の姿 1 「高畠町で子どもを産み育てたい人が増えている」

すてきな出会いがあること。そして新しい家庭を築き、家族を増やすことを応援するしくみやサポート、お手本となる先輩や身近な地域での支えがあれば、結婚して子どもを持つことにも希望が持てます。

結婚、妊娠、出産を望む人が、ためらわずに安心して希望を叶えることができ、たくさんの子どもが生まれる町をめざします。

基本目標① 新しい家庭を築き、家族を増やすことを応援する

基本目標② 安心して子どもを産める環境やサポート体制を整える

ライフステージ 2

「育つ」ひとのために

めざす町の姿 2 「みんなが楽しみながら子どもを大切に育てている」

子育てを支える制度やサービス、地域みんなで子どもを育てるという気持ちに支えられれば、子どもを育てる親は身体的にも、精神的にもゆとりができ、安心して子どもを産み育てられます。

町全体で子育てを支援する体制を強化し、子どもが笑顔で育つことのできる町をめざします。

基本目標③ 子どもが健康にすくすく育つ環境を整える

基本目標④ 子育ての負担を軽減する環境やサービスを増やす

基本目標⑤ 課題を抱える子を育てる親が安心できる環境を整える

めざす町の姿 3 「学びの場が充実して、魅力ある“高畠人”が育っている」

町には多くの自然や歴史遺産、専門的な知識や技術を持った方々など素晴らしい資源・人材がたくさんあります。大人も子どもも地域の良さを学び、お互いが成長し、高畠町で暮らすことへの誇りや愛着を持つことにより、高畠町を大切に思う気持ちが広がります。

これまで培ってきた高畠町の伝統や文化を大事にしながら、学ぶことの楽しさを感じられる取り組みを進め、地域ぐるみで魅力ある“高畠人”を育てる町をめざします。

基本目標⑥ 子どもたちの中にある力を伸ばす教育を行う

基本目標⑦ 学ぶ気持ちを大切にし、地域の教育力をアップさせる

基本目標⑧ 「ちがい」を認めることができる人を増やす

めざす町の姿 4 「技の継承と新たな取り組みで、産業に活力が生まれている」

これからは、人口の急激な減少により担い手不足が心配されています。このような課題を克服するためには、各分野において知恵や技術を継承すると同時に、新しいアイデアで「カッコいい」「もうかる」産業を実現させていく必要があります。

地域の産業の連携により、高畠町らしい魅力ある「もの」や「サービス」が生まれ、活力あふれる町をめざします。

基本目標⑨ 若者があこがれる「カッコいい」産業を増やす

基本目標⑩ 資源や人のつながりで、地域産業をもりあげる

めざす町の姿5 「夢や希望が実現しライフスタイルに合った働き方ができている」

高島に戻る人、住みたい人を増やすためには、経済的な安定はもちろん、一人ひとりの生き方や働き方に合った、魅力的な仕事が必要です。様々な仕事のかたちや選択肢があり、高島町で暮らすことに希望が持てる町をめざします。

- 基本目標⑪ 一人ひとりの生活に合った多様な働き方の選択肢を増やす
- 基本目標⑫ 新しいビジネスを創出しやすい環境を整える

ライフステージ 5

「暮らす」ひとのために

めざす町の姿6 「安心して生活できる環境があり、心豊かに暮らしている」

高島町の魅力を聞くと多くの人が豊かな自然環境と答えています。反面、雪などの自然の厳しさは多くの皆さんの悩みとなっています。今ある自然環境を守り、ゆったりとした生活を楽しみながらも、暮らしやすさや安全安心につながる環境が整備された町をめざします。

- 基本目標⑬ 自然とともに、心豊かな暮らしを楽しむ人を増やす
- 基本目標⑭ 安心して快適に生活できる環境を整える
- 基本目標⑮ みんなで地域に気を配り「もしも」の時に助け合えるしくみを広げる

めざす町の姿7 「一人ひとりが健やかで、ゆるやかに支え合っている」

日頃から健康で、日々の生活を楽しみ、病気になっても良くなる希望が持てる。暮らしの中で困ったことがあっても、誰かがさりげなく支えてくれる。こんな生活があたりまえにあれば、安心して暮らすことができます。

保健、医療、福祉の分野が密接に連携し、町民一人ひとりがゆるやかにつながって、心身共に健やかに暮らすことのできる町をめざします。

- 基本目標⑯ 生涯にわたって健康で活動的に生活できる人を増やす
- 基本目標⑰ 地域の中でゆるやかに支え合うしくみを広げる

めざす町の姿 8 「年を重ねても誰もが自分らしくいきいきと暮らしている」

住み慣れた地域で自分らしく、安心して、元気にいきいきと暮らすことは多くの人の願いです。豊かに笑顔で暮らし続けられる環境を実現するためには、一人ひとりを取り巻く地域の環境も含めて考えていく必要があります。

年を重ねても頼りにされ、住み慣れた地域で顔なじみの人たちに囲まれ、暮らし続けられる町をめざします。

基本目標⑱ 生きがいを持ち人生を楽しんでいる人を増やす

基本目標⑲ 住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられる環境を整える

めざす町の姿 9 「みんなで未来に向けたまちづくりを進めている」

高畠町が将来にわたって住み続けたい、住み続けられる町であるためには、今ここにいる私たちが、この素晴らしい環境を次の世代のために価値ある資源として受け継いでいくことが大切です。

また、様々な課題を解決していくためには、高畠町に関わる人たちが協力して、新たなことにチャレンジしていくことも必要です。

多くの人が自分のこととして参画し、持続可能なまちづくりに挑戦し続ける町をめざします。

基本目標⑳ 地域の自然や生態系を守る活動を広げる

基本目標㉑ 持続可能な環境づくりに取り組む人を増やす

基本目標㉒ 歴史、文化遺産を守り活用し、伝承する人を増やす

基本目標㉓ 夢や志を持ち活躍する若者を増やす

基本目標㉔ 協働でまちづくりを進めるための環境を整える

めざす町の姿 10 「高畠町の魅力が伝わり、訪れる人、戻る人、移り住む人が増えている」

人口減少は、高畠町にとっても大きな課題です。多くの人々が高畠町に足を運び、再び訪れ、住みたくなるような町になるためには、町の魅力を町内外に発信することが必要です。

この地域で生まれ育った若者が地元で根付く、ふるさとに戻りたいと思う、そして町外から高畠町を選んで訪れる人が増える町をめざします。

- 基本目標②⑤ 町内外に町の魅力を効果的に発信する
- 基本目標②⑥ 高畠町ならではの発想による観光を生み出し、訪れる人を増やす
- 基本目標②⑦ 交流力を高め、高畠町を応援する人や地域を増やす
- 基本目標②⑧ 移住・定住しやすい環境を整え、戻ってくる人、移り住む人を増やす